相馬村広報

りんごの森

2022 9 No.482

特集１
竣工 新ライスセンター

特集２
それぞれのお山参詣

竣工

新ライスセンター

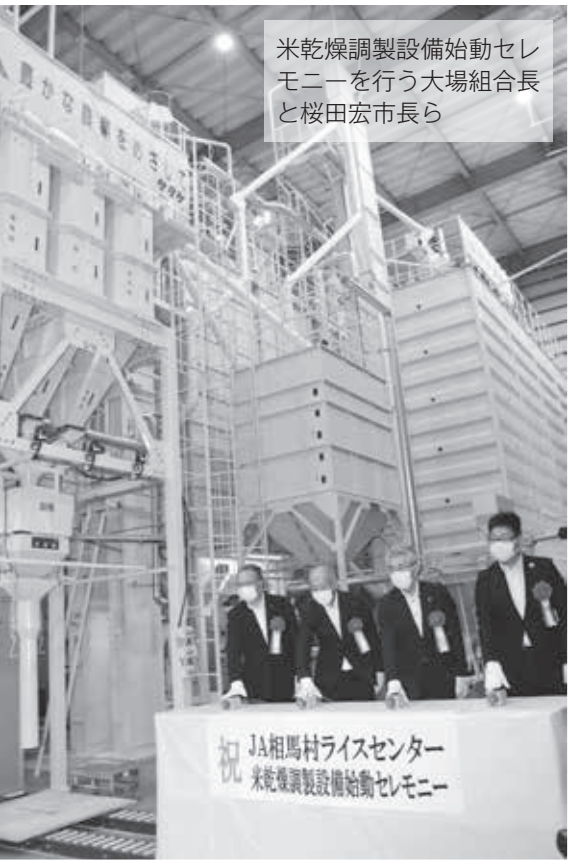
renewal

弘前市紙漉沢に所在する当ＪＡのライスセンター建替工事が完了し、8月30日に竣工式を迎えた。

旧ライスセンターは１９７５年に竣工し46年間稼働したが、施設の老朽化によりコメの品質に影響が出てきていた。米消費量の落ち込みなどに伴う生産量の減少により、かつてあった５６０トン荷受け可能な生もみの貯蔵施設をなくしたことで、新ライスセンターは1日の荷受能力が60～80トンと減少したが、直接遠赤外線乾燥機へ生もみが入ることで処理を迅速化し、荷受け翌日には玄米が出荷できる体制を整えた。

竣工式には約30人が出席し、玉串奉奠を行い今後の安全作業を祈願したあと、櫻田宏市長や大場勉組合長が米乾燥調製設備の始動開始ボタンを押した。

大場組合長は「大規模な設備投資となったが、食の安全性や産地としての信頼性が第一。資材高騰や大雨の影響で生産者への打撃は大きいが、これからも選ばれる産地として、組合員の経営安定に貢献したい」と決意を新たにした。管内では9月15日からブランド米『青天の霹靂』の稲刈りが始まる。



米乾燥調製設備始動セレモニーを行う大場組合長と桜田宏市長ら

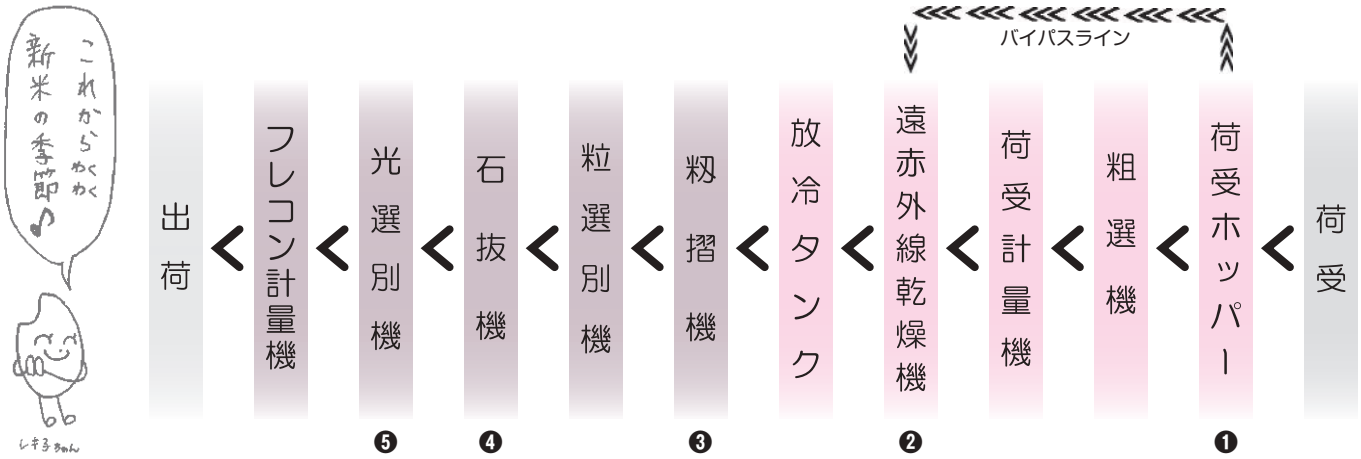
覚応院の住職よりご祈祷いただき、今後の豊作と安全作業を祈願する一同

品質管理が飛躍的に向上
荷受量減少なるも、翌日出荷可能に

総事業費：619,910,500円　平屋建て：1,233㎡　生籾荷受量：60～80t／日

コメ機械工程大解剖

動画はコチラ→



❸ハンドルで傾きを調整しながら籾摺を行う

❷１日60～80t適正水分に乾燥できる遠赤外線乾燥機

❶ダンプとフレコンの両方荷受できる荷受ホッパー

❹コメに紛れた石を、目の細かい弾力性のザルで落とす

ライスセンター後ろ側には、生もみに混じったゴミの集排塵装置があり、最後はシャワーで洗い流されるため巻き上げを最小限にできる仕様。

❺光を照射して青いコメや黒点のあるコメを選別

それぞれのお山参詣

旧暦の8月1日を朔日山（ついたちやま）、その前日を宵山（よいやま）、前々日を向山（むかいやま）とし、集団で岩木山に上り、ご来光を拝むことで、五穀豊穣と家内安全を祈願して行われる津軽地域最大の秋祭り『お山参詣』。相馬有志会はコロナ以前まで18年間連続で集団登拝を行ってきた。

今年、岩木山神社はマスク、消毒、飲食の禁止をするなど感染対策をとりながら、団体参拝の受け入れを行った。

相馬有志会では団体参拝は見送りながらも、向山の日には役員による旗揚げとご祈祷を行った。また宵山の日には、社会福祉法人七峰会の団体参拝のサポート役として拝殿前まで登拝に付き添った。当団体は、独立参拝を目指しノウハウを学ぶため、4年前、相馬有志会に約50名で来て以降、コロナの感染拡大により運行ができなかった為、今年が『七峰会』として初めての集団参拝であった。

登山囃子愛好会に関しても、有志が七峰会の囃子方をサポートし、宵山の日に行われる登山囃子本大会へ出場した。

有志会代表の中澤圭一さんは「今年は団体参拝を見送ったが、来年はみんなで登拝できることを願っている」と話していた。

旗の上がった岩木山神社参道は更に荘厳

真摯にご祈祷する島口昭男前会長と有志会

相馬登山囃子愛好会
お囃子が鳴り響く

七峰会の立てるのぼり旗を見守支える
相馬有志会の面々

五穀豊穣を願うお供え物とぼんのこさし

無事に登拝が終わり安堵の表情

果実販売動向

販売課　田中　瑠偉

8月の果実動向は、スイカについては、消費地の高温・お盆向けの販売のため売場が確保されたものの、長野県産および東北産中心に潤沢な入荷が続いたことにより、荷動きは鈍く、品質低下により価格面では弱含みの推移となりました。

メロンについては、東北の降雨の影響により入荷量が少なかったことから、荷動きは概ね良好で、価格は持合推移となりました。

モモについては、長野県産・福島県産を中心に入荷が増加する一方、売価高が続いたことにより荷動きは鈍く、価格は弱含みの推移となりました。

リンゴについては、令和3年産の貯蔵りんご中心の販売から、長野県産シナノリップ等の極早生品種が本格的に始まり、安定した入荷から売場の拡大が進みました。8月後半にはサンつがるの入荷が開始となり、総体量の少なさから堅調な価格推移となりました。

今後、スイカについては、主要産地の切りあがりから入荷量の大幅な減少が見込まれるものの、売場の縮小と品質低下から弱含みの推移が予想されます。

モモについては、流通在庫を多く抱える中、主要産地の山梨県産が終盤を迎え、長野県産が晩生種に切り替わることから、総体量の減少が見込まれ、また末端売価が下がる見通しのため、荷動きの回復が期待されます。

また、量販店などではこれまで売場の中心であった、スイカ・モモに代わり、徐々にナシ・ブドウの売場の拡大が進む見込みとなっております。

りんごについては、サンつがるの入荷がピークを迎える見通しで、末端の売場でもサンつがるへの切り替わりが進み、荷動きの活発化に向け末端売価を下げての販売が予想されます。

当JAのサンつがるも8月下旬から販売のピークを迎えます。市場では各産地のサンつがるが出揃い、流通量が増加することによって、日々下げ基調が予想されますので、有利販売に努められるよう早期出荷と売価価格を見定め企画販売に取り組んで参ります。

心を込めて丁寧かつスピーディーに選果作業が進むモモ

単価は全農あおもりデータ（8月末累計）

品　種	サンつがる	きおう	その他	合　計
単　　価　　(円)	4,053	3,620	2,836	4,153
前　年　比　(%)	113	107	117	58

生産情報

農業振興課主任　田中 裕滋

○りんご作業（9月15日～10月15日）

管内のりんごの肥大は、9月1日の調査でふじが79.1ミリと昨年と比べ1ミリほど大きく推移しています。

今後の台風の発生に厳重な警戒が必要です。防風網や支柱などを点検し、気象情報には十分注意して下さい。

管内のりんご肥大状況（9月1日調査）

	湯口	紙漉沢	相馬	平均	前年比	平年比
ふ　じ	79.3	81.6	76.3	79.1	78.1	74.6
王　林	78.0	73.8	74.9	75.6	74.7	75.6
つがる	—	88.6	—	—	83.2	73.8

※単位は（㎜）平年比は過去10年間の値

●除袋時の注意

除袋の際はりんごの日やけ果を出さないために次のような注意が必要です。

二重袋では、まず外袋をはぎ、果実の色が黄色みがかった時、あるいは薄い縞が入った時（晴れた日が3～5日続いた後）に内袋をはいで下さい。

また、外袋をはぐタイミングで果実に付着している葉を摘み取るようにしましょう。これは着色ムラをなくし、さらにハマキムシ類の被害を予防する場合にも有効です。

●被害を拡大させないために

黒星病・炭そ病等の被害果は、被害拡大を防ぐためにも、見つけ次第摘み取り、土中に埋めるなど適切な処理をしましょう。

また、今年は園地によって褐斑病による被害葉の落葉が散見されています。これからの対策はないので、来年に向けて防除暦の見直しなどをしましょう。

●収穫時にご注意を

果実に発生する疫病は、降雨時の収穫等によって果実に泥が付着し、冷蔵庫内や出荷先にて発病することから、降雨時の収穫の際にはできるだけ果実に泥を付着させないように収穫カゴの底にネットを敷き、収穫カゴを直接地面に置かないなどの工夫が必要となります。落下した果実を収穫果に混ぜたり、泥のついた手袋などでは果実に触らないようにしましょう。

●農作業事故には十分注意を

これからの時期は、夕暮れが早く農作業も忙しくなります。機械の取り扱いや、ハシゴを使用する場合には、安定した場所にしっかり固定するなど安全確認をしましょう。降雨時は特に注意し、事故やケガのないように農作業を行いましょう。

2022年　農作物防除記録の回収について

※共同防除（共防連加入）の場合は一部記入が不要です。（りんごに限る）
※共同防除の場合は、代表者、構成員で記入が異なります。注意して記入下さる様お願い致します。

10月上旬に、職員が今年度の**「防除記録」**の回収に伺います。また**「誓約書」**も併せて必ず提出くださるようお願い致します。

なお、「農作業記録簿」等については12月上旬に回収にいたします。

topics 01 インボイス制度について学ぶ

8月4日、ロマントピア白鳥座にて青申会のインボイス制度説明会が開催され、会員25人が参加した。講師は一般社団法人青森県農業会議の相馬真也氏が務め、制度の内容や登録をしなければならない人について、実例に基づいて説明した。

制度開始時にインボイス発行事業者になるためには令和5年3月までに申請が必要なことから、参加者は熱心に聞き入っていた。

活発な質疑応答が交わされた

topics 02 メルシー・恋空目揃え会実施

8月5日、極早生種目揃え会が開催された。冒頭、振興課田中裕滋主任から、昨年より熟度が進んでいる状況と、過度な葉摘みはヤケ果が進むだけでなく着色不良の原因になることから、果そう葉（リンゴのつる元にある葉）の葉摘みに留めるようにと説明があった。

販売課田中瑠偉担当からはサンプルを見せながらの説明があり、着色を待って軟質化するよりも、地色の抜けがあまり進まないうちに入庫して欲しいとお願いしていた。

熟度調査を元に現状説明

topics 03 カメムシ被害軽減に向けて一斉航空防除

8月13日、ライスロマンクラブによる相馬管内一斉航空防除が行われた。

稲穂が成長するこの時期に農薬散布をすることで病害虫から籾を守り、傷のない良品質の米を作ることができる。

この日はラジコンヘリ3台が出動し、ヘリ運搬車・ヘリを操縦するオペレーター・散布作業を安全に誘導する合図マンが班を組み、効率よく作業を進め、管内80haのすべての田圃で無事散布が完了した。

ラジコンヘリを操縦する林﨑孝人さん

topics 04 りんご選果荷造り作業員説明会

8月17日、当JA本所りんご冷蔵庫にて、りんご選果荷造り作業員説明会が行われ、66名が参加した。

着果量が多い令和4年産は、例年よりも収量が増える見込みであると同時に「今年度は旧正月が1月22日と早いため、1月が輸出のピークとなり忙しい年になる」とし、大場勉組合長は選果員らへ一層の協力を求めた。

人員に空きがあるので、手伝える方が周囲にいればぜひ販売課までご連絡下さい。

選果員に協力を呼び掛ける大場組合長

topics 05 フェロモン調査しています

8月23日、りんご園地にてフェロモントラップ調査が行われた。この調査は、各病害虫の発生消長を把握するために実施しており、オスの蛾をメスのフェロモンの臭いで引き寄せ、誘殺された虫を数えるものである。

5月下旬から毎週2回、管内5箇所の園地でそれぞれコカクモンハマキ・ミダレカクモンハマキ・モモシンクイガの3種類を行っており、発生状況をテレグラム等で生産者へ周知している。

ベタベタのシートに蛾が引き寄せられる

topics 06 りんご評価員目合わせ

8月26日、本所フルーツステーションにて、りんご評価員と当JA職員が目揃えを行った。

早生種のつがるときおうの評価基準の確認を行い、色択・玉揃・量目・欠点・鮮度で意見交換をしながら認識の共有を図った。

「1つのコンテナに半々で小玉と大玉が入っていたらどうするのか」など、評価に迷う場面を想定しながらの目揃えとなった。

早生種の評価は8月28日から9月22日頃まで行われる。

活発な意見交換で基準を定めた

JA TOPICS +Plus

topics plus りんご剪定枝の和紙いかが

8月17日、紙漉沢にある『紙漉の里』にて、弘前実業高校の生徒によって和紙作りが行われた。

多くが廃棄処分されるりんご剪定枝を再生させた和紙製作をする『りんご／さくら和紙研究会（弘前大学が事務局）』の協力のもと、10月に青森で開催される『さんフェア』出展に向けて実施されたもの。小学生を対象として、青森らしい和紙を用いた名刺作りのワークショップを行う予定。生徒たちは滅多に出来ない和紙手漉き体験を楽しんでいた。

紙の均一さにこだわって紙を漉く高校生ら

topics plus 相中祭にキッチンカーが来た

9月4日、相馬中学校の文化祭に『ハウオリカフェ』のキッチンカーが昼食の提供を行った。3年間相馬地区で地域おこし協力隊を務めた佐野りささん夫妻が行っている事業で、PTA会長の安田祐一さんの呼びかけと、東海校長の「生徒が自分で選んだお弁当をキッチンカーで買う体験をさせたい」という意思が合致し実現となった。

実際に購入をした生徒は「キッチンカーが可愛かった。お肉がすごく美味しい」と感想を話していた。

心を込めてハワイアンフードのお弁当をお届け

湯口SS

所員　小山内　一翔

いつも当SSをご利用いただき誠にありがとうございます。組合員の皆様、平素、携行缶へのガソリンの販売記録にご協力いただきありがとうございます。

口で手続きできますので、詳しくは当スタンドスタッフにお声掛けください。

当SSはなるべくお安く提供できるよう頑張りますので、これからもご利用をお待ちしております。

今後のイベント

● JASSの日

毎月第2金曜日は、JASSの日キャンペーンを行っております。2000円以上の給油した方が対象で、10月14日（金）の景品はグリコお菓子詰め合わせ6点セットです。お客様のご来店を心よりお待ちしております。

JASSの日　次回景品はコレ！

皆様にお知らせがあります。

アップルロードから見える大きい看板の価格表示が会員価格になりました。即日会員カードが発行できる現金会員は、窓口で手続きできますので、詳しくは当スタンドスタッフにお声掛けください。

会員価格表示になりました。
※9月1日現在の写真です

9月 イベント情報

JA SS

日	月	火	水	木	金	土
				1 特売日	2	3
4	5	6 ポイント3倍	7	8 特売日	9 第4回JASSの日	10 灯油の日
11	12	13 ポイント3倍	14	15 特売日	16	17
18	19	20 灯油の日 ポイント3倍	21	22 特売日	23	24
25	26	27 ポイント3倍	28	29 特売日	30 灯油の日	

お知らせ

- **セルフ洗車 700円以上で燃料2円引きレシート！**
- **10・20・30日は灯油の日。店頭で購入すると2円お得です。配達ですとサービスになりませんので、灯油の日はぜひご来店下さい。**

※都合により特売日が変更になることもあります。

会員ポイントを貯めて景品をGET!

会員の方は、ハイオク／レギュラー／軽油／灯油1Lに付き1ポイント貯まります！300ポイント貯めて以下の景品と交換できます。

- 箱ティッシュ
- トイレットペーパー
- 林檎の森商品券

直売所「林檎の森」

所員　児玉 広樹

いつも直売所「林檎の森」をご利用頂きありがとうございます。

今年の夏は、雨が多くすっきりしない日が続き、その影響もあってか例年に比べて野菜の入荷量が少ない様に感じます。

また、先月上旬から入荷していた嶽きみも出荷のピークが終わり、これからはいよいよりんごの出荷が本格化し始めていくと思われます。

今年もたくさんのお客様に嶽きみをお買い求め頂きありがとうございました。

さて、現在店頭にはトキや早生ふじ等の中生種のりんごが並び始めています。その他ぶどうやプルーン、梨などのフルーツやカボチャ、ジャガイモ、毛豆などの野菜や原木なめこ、山シメジなどのキノコ類も徐々に並び始めてきています。

「林檎の森」で津軽の秋の味覚を味わってみてはいかがでしょうか？

最後に、現在直売所では、【JA直売所キャンペーン（9／3～10／31）わくわくプレゼント】を行っております。たくさんの豪華景品が用意されていますのでぜひご応募してみて下さい。

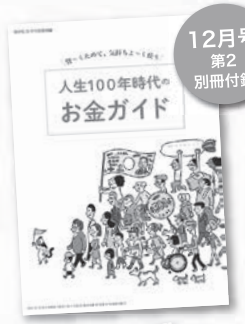
詳細は店内ポスターなどに記載されています。同時にJAカードでお買い物されますとお会計の5％引き＋直売所ご利用額の10％相当のポイント（上限2500ポイント）還元という大変お得なキャンペーンも行っておりますのでぜひ「林檎の森」にご来店下さい。

スタッフ一同心よりお待ちしております。

旨味の濃い毛豆は大人気商品です！

未来を描く ハッピー マイライフ運動

お金は夢のおともだち



12月号・1月号
購読申込受付中

お申し込みはお近くの
JA本・支店（所）へ

"Ienohikari"
家の光

定価（税込）
●普通月号 629円
●付録月号（1・4・5・7・9月号）922円
●家計簿付き12月号 1,027円

JAグループ 家の光協会　〒162－8448 東京都新宿区市谷船河原町11　TEL 03-3266-9039　http://www.ienohikari.net

棟方 英昭さん
優枝子さん

ほぼ毎日4時起床で、切干大根煮、キュウリとみょうがの辛子醤油、ポテトサラダなど、ご夫妻二人で〝地産地消〟をモットーに惣菜作りをされている。

おいしいものをありがとう加工

直売所「林檎の森」へ加工品を出荷している方はどんな人？その人物像や加工品にまつわるエピソードを聞いてきました

「地産地消のおばあちゃんの味。そういうお惣菜をずっと作ってきました」

林檎の森の惣菜売り場に気になるパックが並んでいる。〝C.H.ムナカタさんの惣菜〟（C.H.とは？…日系外国人の方かな？）

「夫婦で30年間、土手町でお惣菜屋さんをやった後、今度は弘前大学のバス停近くで弁当屋を12年半やっていました。孫の世話をしたいのもあって店を閉めてから丸7年経ちますが、直売所への出荷は続けていて、それも12～13年位になるかな」

そのお弁当屋さんの名前が〝グッキングハウスムナカタ〟C.H.ムナカタの由来であった！

「下ごしらえは夫の担当で、私は味付けの担当です」優枝子さんの言葉から英昭さんへの感謝が伝わる。

惣菜を作り続ける理由は？

「早朝から自宅で作り続けているのは、お客さんに喜んでもらえることが嬉しいから。待っていてくれる人の為に、まだ二人で頑張りたい。保健所の更新もしたばっかりだからね！」

お客様からお礼のハガキが届くこともあるそう。また、保健所更新は1期7年。向こう7年は安泰のようで、嬉しくなる。

『地産地消』という言葉が出来てから約40年。棟方さんはそれ以前から旬の地場産食材にこだわった惣菜作りを続けて来られている。唯一無二の夫婦の絆に尊敬の念が自然と湧きおこる。

〝C.H.ムナカタさんの惣菜〟

業態は変わっても、変わらず愛される味。ぜひ林檎の森店頭で手に取ってみてほしい。

いきいき女性部通信

事務局　石田 有希子

8月19日、理事研修で七戸・十和田方面へバスで出かけました。

七戸では、期間限定のGOMA展・お菓子のみやきん工場見学・道の駅しちのへ・アモルコーヒー・松雪庵・NAMIKIへ。アーティストGOMAさんのプロフィールを見ると、なんと旧相馬村出身の文字があり、みんなでビックリしました！　また直売所で売られているニンニクの量にも驚きました。

十和田では、ファーマーズマーケットかだぁ～れ・奥入瀬ロマンパークへ。かだぁ～れでは、『たもぎ茸』というきのこが新発売されており、理事の方々も注目していました。

女性部では今後、相馬小3年生のふれあい教室の葉とり・袋はぎ・収穫のお手伝いを実施するほか、12月に伝統料理教室とフラワーアレンジ講習会を行う予定です。

GOMAねぶたの前でハイチーズ！

しちのへ産直のにんにく売場

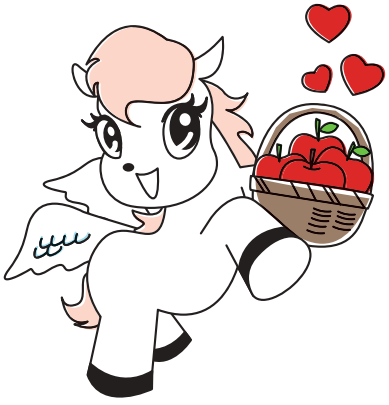
お菓子のみやきん工場見学

お昼は松雪庵のお蕎麦

元七戸町協力隊のコーヒー店

かだぁ～れ、きのこ売場と手芸品コーナーに注目！

奥入瀬ロマンパーク内『あら、りんご』はリンゴに特化したおしゃれなお店



農協役員室で——ネズミ盗聴記

元県農協学園長
秋田 義信

農協の役員室。今日も放送局と油売りとオンベが来ている。共に自分の家では余され者である。だから此処へ逃げて来ているのだ。オンベが苗字（めようじ）のルーツを語っている。

オンベ「青森県の苗字に日本海の北前船系と東の陸路北進系があるんだ」

油売り「北前船系は日本海系だということはわかるが、陸路北進系？」

オンベ「東の方よ。例えば笹森、成田、千葉、武田、渋川、沼田、熊谷、小山などは関東系だ。会津、福島は文字の通り」

放送局「海上北進？　例えば…」

オンベ「竹内、奈良、大坂、兵庫、小寺、岡山、広島、山口、境、小倉、越前谷、越後谷、鶴賀、三上、宮川、中井、石川、金沢、長尾など」

油売り「越後谷、越前谷、台丸谷、伝法谷、菊谷、髙谷など、谷の字のヤが多いのはなぜだ。西郡や下北などに多いけれども…」

オンベ「あれは明治八年の苗字必称令が出たとき『屋号を苗字にすべからず』という政府の通達により、仕方なく屋を谷にしたのだそうだ。例えば衆院議員をつとめた社会党の淡谷悠蔵の生家が『淡路屋』で、それを苗字にしようとしたら、禁じられ、仕方なく淡谷にしたのだそうだ」

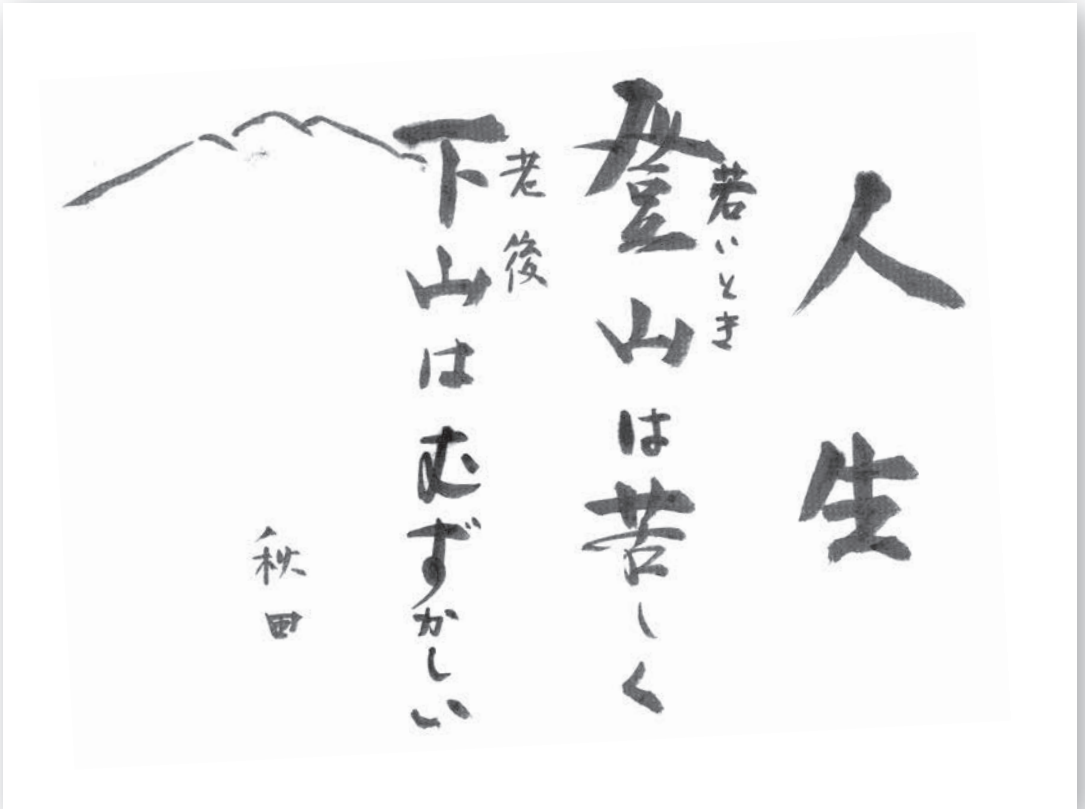
オンベ「五戸町の三浦家や名川町の工藤家など、『先祖は関東の鎌倉武士である』と、めったに人に頭を下げないそうだ」

放送局「安倍元首相の国葬、海外要人接遇費や警備費を含めると、費用が十六億六千万円かかるとか…」

油売り「そのほか、各国から来る政府代表の警護の経費も大変だべ」

オンベ「自民党の二階前幹事長が『国葬しないとバカだ』と言った」

放送局「ああいうバカもあるか」



編集部のつぶやき ～編集後記～

夏休みが終わりましたね。我が家の娘たちは、関東の私の実家へ帰省していたのですが、職業体験施設の『キッザニア』に行ったそうです。期間限定の体験で、〝コオロギパウダーをまぶしたポップコーン作り〟があり、スタッフのお姉さんの「コオロギ食べたことある人～？」の問いかけに、ウチの娘たちだけ挙手したそうです…（汗）

そうなんです、以前SDGsのイベントに参加したときに他ブースにあった試供品のおつまみコオロギを、面白いと思って少し多めに持ち帰り、食べさせたことがあったのでした。同行していた私の身内が驚いたという珍事件、この夏の思い出となりました。

家族で食べたコオロギのおつまみ

さて、昆虫食は良質のたんぱく質と言われますが、何が良いって養殖過程で二酸化炭素がほとんど排出されないというのも良いそうで。近隣で言えば弘前大学でトノサマバッタの養殖研究もされているんです。トノサマバッタはコオロギと違って、餌にタンパク質が必要なく、イネ科などの草だけで育てられるとか。確かに、娘たちが食べたコオロギは餌にカツオ節を使っていました。そのお陰でコオロギ特有のエビのような風味に加えて、カツオだしが効いたような美味しさでした。

さて、稲刈りの季節ですね！　お互い、田んぼにいる野生のバッタをうっかりおつまみにしないよう気を付けましょう☆

yuki

理事会だより

8月19日（金）

1）決算書類監査結果について

2）みのり監査法人監査報告書について

3）７月末残高試算表について

4）組合員名義変更について

5）第58回通常総会開催について

　① 決算書類及び部門別損益計算書の承認について

　② 総会参考書類の設定について

　③ 議決権行使書類の取扱いについて

6）貸付関係について

7）りんご販売関係について

8）固定資産取得について

数独

Q　二重枠に入った数字の合計はいくつ？

出題●ニコリ

ルール

（1）空いているマスに、１から９までの数字のどれかを入れます。

（2）タテ列（９列）、ヨコ列（９列）、太線で囲まれた３×３のブロック（それぞれ９マスあるブロックが９つ）のいずれにも１から９までの数字が１つずつ入ります。

7				□	8	6		
		5				3		
	1		2					
		4			5		2	
3								8
	6		4			1		
					2		1	
		7				4		
□		3	1					5

考え方

タテ列やヨコ列、３×３マスの各ブロックで、同じ数字が重複しないように数字を入れていくパズルです。計算は不要ですよ。例題で解き方を覚えましょう。右下のブロックには、まだ２が入っていないので、４つある空きマスのどれかが２になるはず。同じタテ列やヨコ列に２がない空きマスは、６のすぐ右のマスしかないので、２の入る場所はここだと決められます。このように、確実に数字が決められる場所を、注意深く根気強く探していきましょう。

［例題］

	7	2	9		5	8		6
	1			3			4	
4	9				1	3		
		7	8		9	2		5
	2			5			7	
6		3	7		4	1		
		1	4				5	3
	3			1			6	
5		4	3		2	9	8	

［例題の答え］

3	7	2	9	4	5	8	1	6
8	1	6	2	3	7	5	4	9
4	9	5	6	8	1	3	2	7
1	4	7	8	6	9	2	3	5
9	2	8	1	5	3	6	7	4
6	5	3	7	2	4	1	9	8
2	8	1	4	9	6	7	5	3
7	3	9	5	1	8	4	6	2
5	6	4	3	7	2	9	8	1

表紙物語

8月26日、今年最後となる第4回巡回講座が管内12箇所で行われた。

この日は東一東京青果㈱果実部審議役である渡邊勝俊氏をゲストに招き、最新の市場動向から見たりんご生産についてお話いただいた。初の試みとして、各会場でその様子が見れるようタブレット端末での生配信も実施。渡邊氏は「サンつがるなどの早生種は鮮度重視」とし、適期収穫の利点について、①硬度が高いものがお届けできる②他産地の中生種が台頭する前に売り場をしっかり確保して売り切ることで、より収益化が見込めると話し、着色を重視する晩生種との栽培方法の差について強調。生産者の作業の大変さを労いつつも早期出荷への理解を求めていた。

また販売課職員からは「着色以上に新鮮な食味が大切であるため、適期収穫・当日入庫をお願いしたい」とサンプルを用いて選果基準の説明が行われた。

農作業事故ゼロを目指しましょう

サンプルを用いた目合わせ

渡邊氏より市場視点のお話を聞く

渡邊氏の話は各会場でタブレット端末へ生配信することで、出席した生産者へ共有された

生産者目線の巡回講座は４・５・６・８月の年４回開催

JA相馬村広報 りんごの森
2022.9 Vol.482

■発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497
■編　集
総務課広報
ホームページURL http://www.ja-souma.or.jp/
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp
■発行日
2022年９月15日

JA 相馬村概況

〈令和４年８月末日現在〉

組合員数…… 856 人
（うち准組合員数 …… 373 人）
出　資　金…… 611,135 千円
貯　金　額……9,990,157 千円
共済保有高……3,082,081 万円